

平成30年度シラバス

文化学園長野保育専門学校

科目名				授業の種類	授業担当者
相談援助				演習	栗原 博士
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修
2	1	30	15	後期	卒業:選択 幼免:選択 保育士:必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者として必要な、教育、保育における相談援助の知識を習得できる。 ・保育者、支援者に求められるコミュニケーション技術を身に付けることができる。 ・事例検討を通して、教育、保育における相談援助の実践力を体得できる。 					
<p>[授業全体の内容と概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの保育に対する対応だけではなく、保護者の子育ての悩みなどの相談にも対応を迫られることが増えてきた。そのため教育、保育における相談について、その基本となる理論と方法及び心構えを学ぶ。また、幼児や支援を必要とする家庭を理解するために必要な技術を学ぶ。 					
<p>[受講上の注意事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイ(演習)を行うため、積極的に取り組むこと 					
<p>[使用テキスト]</p> 幼稚園教育要領、幼保連携型認定子ども園教育・保育要領、保育所保育指針 「子どもの理解と保育・教育相談」(みらい)				<p>[評価基準]</p> 定期試験(40%)、授業に臨む姿勢(40%)、毎授業の小レポート	
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]					
回	項目		授業内容		
1	オリエンテーション		進め方など		
2	保育における相談		保育現場に求められる相談について		
3	気になる子どもや障害について		乳幼児の発達(前期の振り返り) 障害について		
4	保護者への対応		子育てをする上での悩み/保護者と接する上でのポイント		
5	専門家・地域との連携その1		保育現場で関わることのある専門家について 専門家との連携について		
6	専門家・地域との連携その2				
7	前半の振り返り				
8	カウンセリング技法の理解と演習 1		カウンセリング・マインドについて学ぶ 保護者相談の時に使えるカウンセリング技法の体験		
9	カウンセリング技法の理解と演習 2				
10	カウンセリング技法の理解と演習 3				
11	カウンセリング技法の理解と演習 4				
12	事例検討 1		事例を基に、保育者としてどのように考え、どのように行動するのかをみんなで話し合う		
13	事例検討 2				
14	まとめ		後期の振り返り		
15	定期試験		試験		